



栃木県立宇都宮女子高等学校



所在地 〒320-0863 宇都宮市操町5-19
 電話 028-633-2315
 F A X 028-637-7630
 U R L <http://www.tochigi-edu-ed.jp/utsunomiyajoshi/nc2/>
 創立 明治8年
 課程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 838人(女子838名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 J R宇都宮駅西口12番バス乗り場より約15分
 六道經由鶴田駅行 } 「宇女高前」下車
 六道經由西川田東行 }
 運転免許センター行 }

全
日
制

I 学校の概要

1 学校教育目標

歴史と伝統を尊重し、個性の伸長をはかりながら視野を広め、社会に貢献する人材の育成を目指します。

2 目指す学校像

「白百合よ、賢きをめぎせ」

- (1) 自己実現を図るために不可欠な高い学力を育成します……《知》
- (2) 自他を思いやる心豊かな人間性を育成します……《徳》
- (3) 未来を逞しく生き抜く健全な心身を育成します……《体》

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の(1)から(3)までの全てに該当する生徒

- (1) 全教科にわたり優れた成績を取め、旺盛な知識欲と探究心をもち、入学後も高い学力を身に付けることが期待できる生徒
- (2) 進路に対する明確な目的意識をもち、その実現に向けて努力を続けることができる生徒
- (3) 学校内外における諸活動(学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動など)に積極的に取り組む生徒

4 沿革

- 明治8年10月 栃木町に栃木女学校として創設
- 明治18年4月 栃木県庁の宇都宮移転にともない宇都宮の塙田町に移る
- 明治34年5月 栃木県立宇都宮高等女学校と改称
- 昭和23年4月 学制改革により宇都宮女子高等学校となる
- 昭和26年4月 栃木県立宇都宮女子高等学校と改称
- 平成14年4月 二学期制を導入
- 平成20年4月 スーパーサイエンスハイスクール(S S H)の指定を受ける(平成20～24年度)
- 平成25年4月 スーパーサイエンスハイスクール(S S H)の再指定を受ける(平成25～29年度)
- 平成27年7月 創立140周年記念式典を挙げる



校章のデザイン マドンナリリー

5 指標

- 強健実践：健康明朗で、強い意志と実践力をもち、勤労を尊ぶ。
- 自主創造：広い視野に立って自主的に判断し、創造的に生きる。
- 温雅清純：美を愛し、情操を豊かにし、品位をそなえる。
- 至誠敬愛：互いに敬愛し、礼儀と責任を重んじ、親和協力する。
- 報恩奉仕：謙虚で、感謝報恩の心をもって奉仕する。



中庭の花々と校舎

6 施設

36,000㎡を超える敷地内に、南校舎(教室棟)と北校舎(管理棟)、第1体育館、第2体育館、図書館、明鏡寮、プール、グラウンド、テニスコート、弓道場などがあります。図書館の蔵書数は43,000余冊でデータベースによって蔵書管理されています。樹木に囲まれた環境のもと、落ち着いた雰囲気の中で学習や読書に集中することができます。

II 学校の特色

1 学校の特色

本校は「白百合よ、^{たか}貴きをめざせ」のスローガンのもとで、創立146年の歴史と伝統とともに、新たな創造の道を歩み続けています。平成14年度から二学期制を導入しており、前期は9月末に終了します。4日間の秋季休業を経て、10月から後期が開始されます。普通科の女子校で、各学年とも7クラスで編成されています。全人教育の立場から、生徒の学力向上を図るとともに、文化祭・体育祭等の学校行事や部活動等の特別活動にも積極的に取り組み、文武両面でバランスのとれた自己育成をめざしています。

2 学習の内容

本校生はほぼ全員が大学進学希望です。そこで、一人ひとりの学力が向上し、進路希望が実現できるようなさまざまな取組を行っています。

(1) 教育課程

令和4年度新入生からは、本校は進学重視型単位制高校としての新しい教育課程をスタートします。一人ひとりの個々の進路希望に対応できるよう多様な選択科目を設けています。

(2) 習熟度別授業と少人数授業

生徒の学力に応じた指導を目的として、国語・数学・英語において実施しています。教科によって形態はさまざまですが、2クラスを3グループに分ける形が多くとられています。

(3) UJOKOZA

土曜日に実施している講座の名称で、本校の略称にちなんで「うじょうこうざ」と読みます。1・2年生は国語・数学・英語の3教科を、3年生は大学受験に必要な教科を中心に選択形式で実施しています。

(4) 自由研究

自由研究とは、希望生徒が自由にテーマ設定し、教師等の助言により一年間で成果をまとめて提出するものです。昭和23年に一人一研究として「自由研究」が始められ、昭和60年に特色ある学校づくりの一貫として拡大された伝統ある事業です。新聞紙上にも何度か取り上げられ校外からも高評価を得ています。

3 探究的な学習の推進と様々な講座

本校は、平成20年度から平成30年度までSSHの指定を受け、日本の社会や科学技術を牽引する女性の人材の育成に力を注ぎました。令和元年度からはこれまでの実績を生かして、全教科・領域に渡る探究的な学習の推進に努め、校内外の様々な諸講座も活用して、生徒達の深い学びの実践を目指しています。「自ら探究しようとする態度や論理的に思考・判断する能力の育成、国内外で活躍できる人材の育成」を目的として、「総合的な探究の時間」における授業を中心とし、大学との連携による各種講演会や出前授業、出前実験、研究施設見学、大学施設での実験・実習、宿泊学習等を実施しています。



ウイルス学体験講座



サイエンス&カルチャーダイアローグ



英語宿泊研修

4 生徒のようす

本校は制服を規定していません。服装は清潔・質素・端正な品位を保つようにし、校章を左胸につけることになっています。県内各地から通学しており、中には通学時間が1時間を超える生徒も少なくありません。生徒は、自由な校風のもとで一人一人が生き生きと活動し、お互いに切磋琢磨しながらそれぞれの目標に向かって真剣に学業に取り組んでいます。



中庭で昼食をとる生徒→

III 進路状況

令和2（2020）年度卒業生の進路状況は、国公立大学進学者が卒業生全体の42.7%、私立大学が46.3%、就職が0%、進学準備が9.9%でした。以下は主な合格先であり、人数は合格者の延べ数を示しています。

【国公立大】 北海道大1名/帯広畜産大1名/岩手大1名/東北大8名/山形大5名/福島大4名/茨城大4名/筑波大6名/宇都宮大20名/群馬大5名/埼玉大4名/千葉大7名/東京海洋大1名/お茶の水女子大2名/電気通信大1名/東京大3名/東京医歯大1名/東京外大1名/東京学芸大2名/東京農工大3名/横浜国大2名/新潟大6名/富山大3名/金沢大2名/信州大4名/岐阜大1名/静岡大3名/京都大1名/大阪大1名/大阪教育大1名/神戸大1名/琉球大1名/国際教養大1名/福島県立医大1名/群馬県立女子大1名/高崎経済大2名/埼玉県立大1名/東京都立大6名/横浜市立大2名/山梨県立大1名/都留文科大3名/長野大2名/静岡県立大2名/名古屋市立大1名/神戸市立外語大1名/奈良県立大1名

【私立大】 国際医療福祉大9名/白鷗大16名/獨協大6名/文教大15名/青山学院大7名/学習院大7名/北里大11名/慶應義塾大12名/国際基督教大3名/駒沢大10名/芝浦工大10名/上智大5名/昭和女

子大5名/成蹊大10名/成城大5名/専修大14名/中央大32名/津田塾大12名/東海大4名/東京女子大10名/東京農業大32名/東京理科大19名/東洋大20名/日本大24名/日本女子大10名/法政大11名/武蔵野大13名/明治大37名/明治学院大7名/立教大24名/早稲田大14名/立命館大4名

【医学部医学科(過年度)】東北大1名/山形大1名/群馬大(1)名/新潟大1名/金沢大(1)名/富山大1名/福島県立医大(1)名/岩手医大(1)名/獨協医大4(2)名/自治医大2(1)名/埼玉医大1(1)名/東京女子医大(1)名/北里大(1)名/杏林大(1)名/順天堂大1名/昭和大(1)名/東邦大(1)名/マリアンナ医大(1)名/愛知医大(1)名/近畿大(1)名

IV 特別活動の紹介

1 学校行事

6月には校内体育大会があります。種目はバスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン、大縄跳びで、クラス対抗で行われます。各クラスの体育委員と該当種目の部員によって運営されます。

7月には合唱コンクールがあります。各クラス自由曲を1曲歌い、クラス対抗で行われます。早いクラスは5月下旬から練習を始めます。校外の施設を使用し、外部の専門家も審査員に招いて行われるコンクールで、非常にレベルの高い内容となっています。



校内体育大会



校内合唱コンクール



文化祭①

夏休み明けには、文化祭と体育祭を合わせた「宇女高祭」が生徒の手によって運営・開催されます。文化祭運営委員会と体育祭運営委員会は、ともに年度初めに募集によって組織されたやる気のある生徒の集団です。



文化祭②



体育祭



体育祭での応援合戦

9月には前期が終業し、4日間の秋休みを経て10月から後期が始まります。10月第2週目の創立記念日には創立記念式とアーデル基金講演会が開かれます。アーデル基金講演会は、PTAと同窓会が共催する行事で、各界の著名人を招いて実施される、質の高い講演会です。

11月には2年生対象の修学旅行があります。本校では通例、初日に広島での平和学習、2～4日目は京都を拠点とした班別行動を実施し、日本の歴史や伝統文化に触れる学習を展開しています。

12月には宇都宮高校と共催で「第九演奏会」を実施しています。オーケストラ部、合唱部、2年生の音楽選択生徒が参加します。また生徒会役員、放送部、演劇部等の生徒が裏方でこの伝統行事を支えています。

3月には、2年生が実施する「探究活動成果発表会」があります。校外の施設を使用して1・2学年の生徒全員が参加し、1日ばかりで研究発表やポスター発表等を行う予定です。

2 生徒会活動

前述の各行事は生徒を主体とした委員会組織の自主的な活動によって成り立っていますが、その活動を支えているのが生徒会です。生徒会役員選挙は5月と10月に行われます。新生徒会長は副会長とともに生徒会役員を指名し、6か月間の任期の中で生徒会活動を精一杯実践していきます。各学校行事を担当する委員会への適切な助言・指導・協力のほか、部活動に対する予算案の作成と執行など、活発に活動しています。

また、部活動等において関東大会以上の大会やコンクールに個人または団体が出場した場合、壮行会を開いて全校生徒の前で部員の健闘を期待し、激励します。

3 部活動

(1) 部活動と同好会の一覧

- ア 運動部 バレーボール、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球、サッカー、弓道、剣道、陸上競技、新体操、山岳、水泳、ダンス 以上14部
- イ 文化部 文芸、小倉百人一首かるた、漫画創作、演劇、美術、書道、茶道、華道、合唱、オーケストラ、箏曲、軽音楽、放送、JRC・PFC、国際文化交流、英会話、新聞、写真、理化、生物、天文、囲碁、手芸、調理、数学 以上25部
- ウ 同好会 クイズ研究、DTM、野球 以上3団体



陸上競技部



サッカー部



テニス部



バレーボール部

(2) 活動状況

昨年、運動部では陸上競技部が関東大会に出場して活躍しました。文化部では英会話部が全国大会に、小倉百人一首かるた部・書道部・合唱部・放送部が全国総合文化祭に出場して活躍しました。部活動以外でも、科学の甲子園全国大会出場、日本言語学オリンピック2021金賞、全国青少年読書感想文コンクール内閣総理大臣賞などすばらしい成果をおさめています。



小倉百人一首かるた部



書道部



箏曲部 (新入生歓迎茶会にて)



華道部

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 10%程度

2 出願するための資格要件

次の(1)から(3)までの全てに該当する者

- (1) 知的関心が極めて高く、学習面で顕著な成果を取めた者
- (2) 入学後も意欲的に学習に取り組み、将来さらに高度の教育や専門分野の教育を受けることを希望するなど、明確な目的意識をもつ者
- (3) 学校内外における諸活動について、以下に示したいずれかの成果を取めた者
 - ①文化的・スポーツ的な活動
文化的な活動またはスポーツ的な活動において、優れた成果を取めた者
 - ②生徒会活動
生徒会の中心となって活動し、顕著な成果を取めた者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度 (口頭試問を含む。)
小 論 文	時間50分 字数500～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年から第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計し、段階評価を行う。
また、点数化されない部分については、活動の規模や実績の程度に応じて段階評価する。
- 3 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

資格要件を満たす者の中から、特色選抜の定員の範囲内で、次の各段階の順に総合的に選抜する。

第1次審議

調査書、面接、小論文の評価がいずれも極めて優秀である者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた受検者を対象とし、調査書、面接、小論文の評価のうち、いずれかが極めて優秀であり、かつそれ以外の評価が極めて優秀または優秀である者の中から合格内定者を選抜する。

第3次審議

第1次審議及び第2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。